

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Second home放課後等デイサービス					公表日	R8年 3月 13日
	チェック項目	はい	どちらでもない いい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			指導訓練室の広さは、子供達にとってストレスのないスペースを確保してあります。疲れた子供が休めるスペースも確保してあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			専門職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		トイレの手すりなどは設置しているが、子供達の自立支援のために、入り口の2cmの段差は残しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			毎日、清掃や換気など行って過ごしやすい環境を作っています。子供達が宿題をやる際には、静かな環境づくりや身体を動かす療育では、机や椅子を移動しスペースを確保するなど療育ごとに環境を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			疲れてしまった子や、気持ちの切り替えなどを行う部屋として、静養室を用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			毎日、職員間で行い、共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			当施設の概念に沿ったご意見に関しましては、改善させて頂いております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎日のスタッフミーティングで、意見をだしてもらい話し合っ業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○			毎月1回は、必ず研修の時間を設けています。また適宜、議題、課題などある場合は研修を行います。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成させていただき、ホームページ上に公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			親御様や相談員様からしっかりとお話を聞いて作成しています。また必要であれば学校など関係機関の方にもお話を伺っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			適宜、職員間で話し合いの場を設け、子供達の支援に対して共通理解の下で支援を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			適宜、職員間で行い、共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			定期的なアセスメントの他に毎回、個別支援計画に添った提供記録をつけています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			ガイドラインに沿って支援計画を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			チーム全体として取り組むようにしております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			子供達の日々の成長を見て、毎月更新を行っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			子どもの状況に応じて個別・集団の活動を組み合わせ、支援を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			必ず毎日行っています。またイベントごとの前には、事前に試作などを行い全体の流れの確認、注意点を話し合ってから提供しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			打合せは必ず行い、支援の共有を行っています。療育中でも何かあれば職員間でリアルタイムで情報を共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○					
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			子供の成長と親御様の思いや願いをお聞きした上で、計画の見直しを行っています。		

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供、のうち、主に①②④を組み合わせ活動を実施しています。イベントの際など、③も組み合わせ実施することもあります。		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		宿題の時間ではわからないところがあれば、手を挙げて先生に聞くことや家に持ち帰りやなど子供達に自己選択できる環境を提供しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関と常に、連携をとれる体制を整えております。		
	28	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		親御様、各学校と連絡をとり、送迎のことや子供のことなど事前に確認し情報共有するように努めています。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現段階では対象となる児童がいないため行っておりませんが、準備はさせていたでいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			センターの方々にはいつも助言を頂いており、とても感謝しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		現段階では、交流は必要ないというご意見がほとんどの為、行っていませんが、希望が過半数を超えるようでしたら希望者のみ対応します。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加をさせて頂いています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡ノートや送迎時の情報共有、必要に応じて電話等でやり取りを行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			送迎時などに直接お話をさせて頂いております。また必要であれば、お電話や面談にてお話の場を設けています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時にご説明させて頂いております。またご質問や変更などあった場合は、その都度お伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			作成するにあたって面談時に親御様の要望などをお聞きし、反映したものを作成成し、計画書のご説明した上で同意を頂いております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			計画書の支援内容について、親御様に説明し同意を頂いてからサインを頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			当施設で、できる範囲ではございますがお話させて頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現段階では必要ないというご意見がほとんどの為、行っていませんが、希望が過半数を超えるようでしたら希望者のみ対応します。今後は定期的に、親御さん同士が交流する場を提供できるよう考えています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			当施設の目標にしている概念に沿ったご意見はすぐに対応していますが、そうでないものに関しては検討の上、対応をさせて頂いております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月、発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			注意をしておりますが、ご指摘があった物に関してはすぐに対応させて頂いております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域に根差していく為にも、行事に地域の方々をご招待する機会を検討していきます。現段階では必要ないというご意見がほとんどの為、行っていませんが、希望が過半数を超えるようでしたら希望者のみ対応します。	
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			緊急時や事故の対応など定期的に確認をし職員間で共有しております。今後も引き続き親御さんにより一層詳しく説明し周知していきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			感染症や災害時への対応など定期的に確認をし職員間で共有しております。今後も引き続き親御さんに説明し周知していきます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			契約、面談時に親御様よりお伝え頂いております。お薬の処方が変わった場合などは、その都度、連絡帳やお薬手帳のコピーを頂いて、把握できる体制を整えております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		車両点検や不審者への対応など定期的に確認をし職員間で共有しております。また施設の机や椅子、棚などの環境設備の確認や、外出先の事前の下見など行っております。		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時に子供の安全管理や施設内の設備の工夫についてお伝えしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			事業があった際には、職員間で話し合いの場を設け、情報共有し対応方法を話し合っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			定期的に行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			当事業所では、該当するお子様が現在いません。今後、該当するお子様が利用する場合は、事前に親御様、相談員さん、事業所で話し合いを行い決めていきます。	